

板野町公共施設個別施設計画



令和3年3月

目次

第1章	計画の概要	1
第1節	背景・目的	1
第2節	計画の位置づけ	2
第3節	計画期間	3
第4節	対象施設	4
第2章	板野町の公共施設の現状と課題	6
第1節	これまでの公共施設の整備状況	6
第2節	施設関連経費の推移	7
第3節	施設維持管理・更新にかかる費用の推計結果	9
第3章	施設管理の基本的な方針等	11
第1節	施設マネジメントの基本方針（「公共施設等総合管理計画」より抜粋）	11
第2節	維持管理の実施方針	12
第3節	施設長寿命化の基本方針	15
第4節	優先順位の考え方と更新費用の平準化について	17
第5節	建物系公共施設の費用試算及び平準化	27
第4章	施設分類別の個別施設計画	29
①	町民文化系施設	29
②	社会教育系施設	31
③	スポーツ・レクリエーション系施設	32
④	産業系施設	33
⑤	学校教育系施設	34
⑥	子育て支援施設	35
⑦	保健・福祉施設	37
⑧	行政系施設	40
⑨	公園	41
⑩	供給処理施設	42
⑪	その他	43
第5章	計画のフォローアップ	44
第1節	推進体制の整備	44
第2節	フォローアップ	44

第1章 計画の概要

第1節 背景・目的

わが国においては、高度経済成長期に、多くの公共施設の整備を進めてきました。その当時から建築された公共施設は、築30年以上経過しており、多くが耐用年数を超過した状況となっています。このような公共施設は、今後、大規模改修や修繕、建替えが必要となります。

地方公共団体においても、少子高齢化に伴う社会保障費の増加や、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少等が推測され、依然厳しい財政状況が続く中、公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより、税制負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要です。

特に、公共施設の老朽化は社会的な問題となっており、本町においても将来の公共施設等に係る建替えや改修などの更新費用が増加することが予測されます。さらに、厳しい財政状況が続く中で、今後の人口減少などにより、公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されます。

このような状況下で、国からも公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という）の策定を要請されることとなりました。本町においては、平成28年度に公共施設等総合管理計画を策定しました。

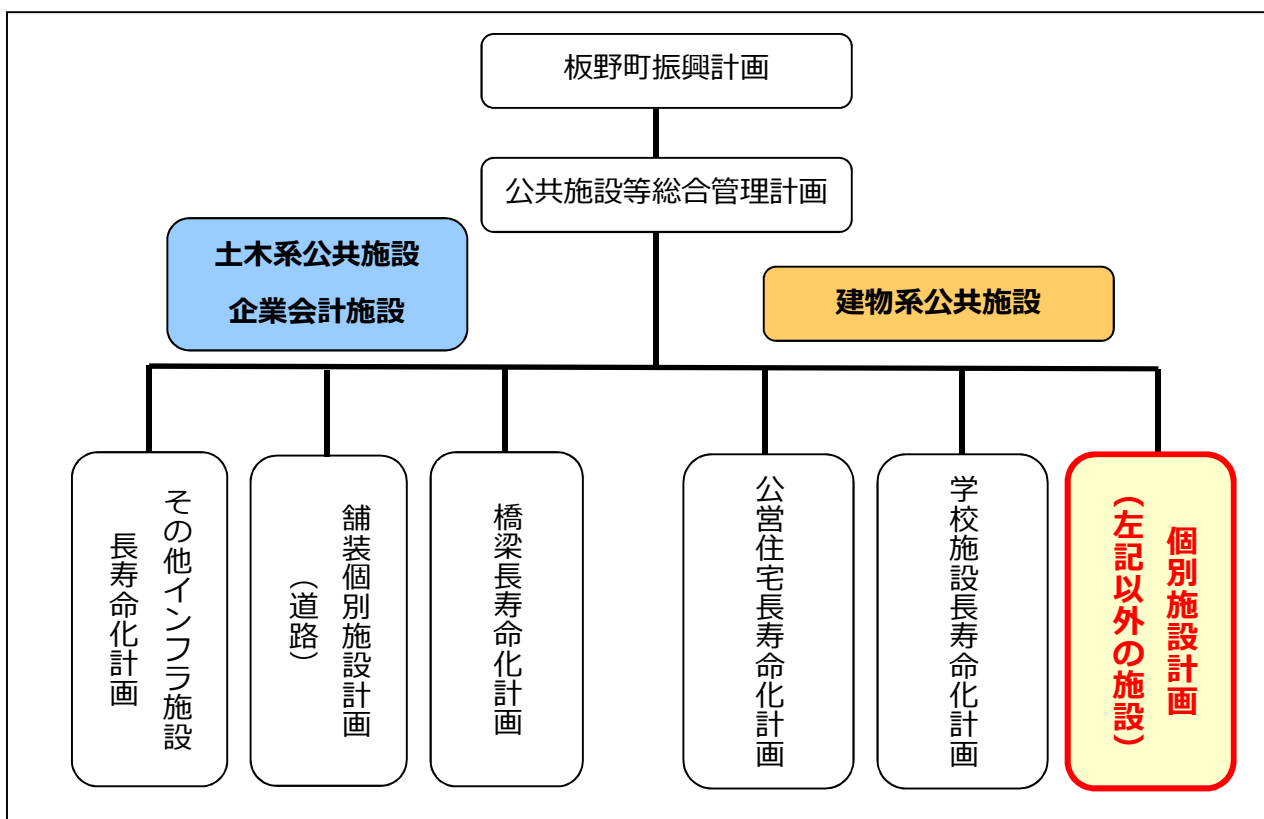
総合管理計画では、町全体の公共施設の総合的な状況把握、方針の策定を行いました。さらに個別の施設毎の実行計画を策定することが求められており、具体的な対策内容や実施時期、対策費用を考える必要があります。本計画は、本町の関連計画と整合を図りながら、施設の劣化状況を踏まえ、公共施設等の総合的な管理に関する基本的な方針として、「適正かつ柔軟な施設マネジメント」を行っていくことを定め、実施方針を定めました。

第2節 計画の位置づけ

総合管理計画は、本町の最上位計画である「板野町振興計画」を下支えする計画であり、本計画は、総合管理計画の下位計画として位置づけられます。

本計画では、総合管理計画に掲げる建物施設のうち、学校施設及び公営住宅を除く施設に対し、維持管理方針を示すとともに、施設ごとの更新・改修等の対策内容や実施時期、対策費用を示します。

図表1 計画の位置づけ

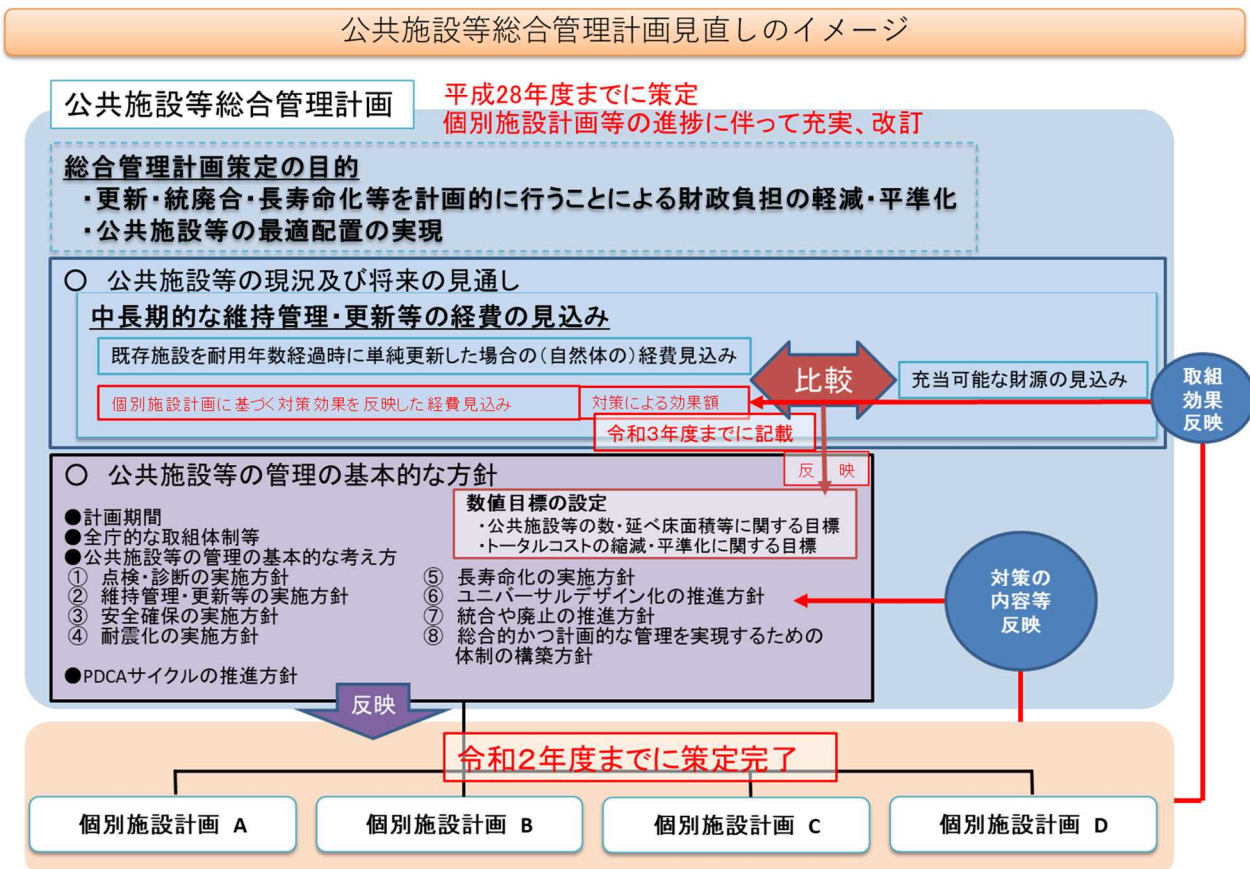


第3節 計画期間

本計画は、公共施設の維持管理、更新等に係る中長期的な視点及び財政状況等の現状を踏まえた計画とするため、令和3年度から令和12年度まで（10年間）を計画期間とします。なお、計画内容は社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても適宜見直しを行います。

また総務省では、公共施設の総量適正化につなげるとともに、計画的な保全により、維持管理コストを低減及び平準化していくことで、公共施設にかかる財政負担を軽減し、持続可能な財政運営につなげることを目的として、個別施設計画策定後における総合管理計画の見直しについても示されています。

参考 公共施設等総合管理計画見直しのイメージ（総務省発表資料より）



第4節 対象施設

総合管理計画に掲げる建物施設のうち、以下の用途の施設を本計画の対象とします。対象施設は、施設の状態等を把握し、後述の施設整備の基本的な方針等に基づき、計画期間における対策内容等を整理します。なお、学校教育系施設のうち、幼稚園及び小中学校、給食センターについては、学校施設長寿命化計画、加えて、公営住宅については、公営住宅長寿命化計画をもって個別施設計画を位置付けます。

図表 2 本計画の対象施設

施設類型	施設名	所管課	総延床面積 (㎡)
町民文化系施設	犬伏コミュニティセンター	総務課	72.00
	川端コミュニティセンター・老人憩の家	福祉保健課	237.59
	町民センター	福祉保健課	2,046.19
	南公会堂	人権コミュニティ課	1,157.00
	総合センター	人権コミュニティ課	800.00
	東公会堂	人権コミュニティ課	1,112.76
	あせび会館	産業課	74.91
	南公民館	教育委員会	1,012.00
	下庄教育集会所	教育委員会	132.19
	文化の館	教育委員会	4,144.67
	中央公民館	教育委員会	509.91
	町民ふれあいプラザ	教育委員会	1,033.45
社会教育系施設	陶芸ハウス	総務課	12.00
	大坂口御番所跡	教育委員会	146.00
スポーツ・レクリエーション系施設	共同浴場（板野温泉）	人権コミュニティ課	247.41
	彩りの館	産業課	289.55
	彩りの館附属休憩所	産業課	9.90
	やすらぎ館	産業課	834.16
	文化交流館	産業課	546.07
	健康の館	教育委員会	3,183.42
	板野町体育センター	教育委員会	829.45
	町民プール（管理棟）	教育委員会	205.00
産業系施設	畜産センター	総務課	88.00
	南地区農機具等格納庫	産業課	268.20
	川端地区農機具等格納庫	産業課	129.50
	大寺地区農機具等格納庫	産業課	256.00
学校教育系施設	西新田教育集会所	教育委員会	122.96
	川端教育集会所	教育委員会	168.00
	郡頭教育集会所	教育委員会	256.17
子育て支援施設	板野保育園	板野保育園	2,199.07
	東公民館	住民課	227.45
	南公民館	住民課	227.00
	西公民館	住民課	402.04

図表 2 本計画の対象施設（つづき）

施設類型	施設名	所管課	総延床面積 (㎡)
保健・福祉施設	下庄老人憩の家	福祉保健課	97.09
	犬伏老人憩の家	福祉保健課	163.87
	古城老人憩の家	福祉保健課	163.62
	黒谷老人憩の家	福祉保健課	76.38
	吹田老人憩の家	福祉保健課	158.15
	デイサービスセンター-在宅介護支援センター	福祉保健課	557.92
	西中富老人憩の家	福祉保健課	162.20
	日出家老人憩の家	福祉保健課	98.54
	新田老人憩の家	福祉保健課	150.00
	関柱老人憩の家	福祉保健課	77.00
	岡ノ宮老人憩の家	福祉保健課	119.00
	大寺東老人憩の家	福祉保健課	107.49
	板野共同作業所あせび	福祉保健課	158.67
	高樹老人憩の家	福祉保健課	126.19
	大寺老人憩の家	福祉保健課	238.00
	中久保老人憩の家	福祉保健課	124.00
	唐園老人憩の家	福祉保健課	83.52
	那東老人憩の家	福祉保健課	120.00
	矢武老人憩の家	福祉保健課	264.00
	羅漢老人憩の家	福祉保健課	148.68
	西中富老人ルーム	人権コミュニティ課	149.72
	川端老人ルーム	人権コミュニティ課	147.91
	大寺老人ルーム	人権コミュニティ課	140.33
	養護老人ホーム	老人ホーム	1,680.67
中村老人憩の家	福祉保健課	98.00	
行政系施設	役場庁舎	総務課	1,923.11
	南消防センター	総務課	76.80
	災害対策用備蓄倉庫	総務課	187.20
	東第2消防センター	総務課	96.00
	東第1消防センター	総務課	96.00
	消防センター	総務課	173.00
	西消防センター	総務課	98.24
	公園	あせび公園	産業課
田園パーク東トイレ		教育委員会	45.00
ポケットパーク公衆便所		教育委員会	56.00
歴史文化公園		教育委員会	154.76
供給処理施設	環境センター	環境生活課	1,093.50
	し尿処理施設（クリーンセンター）	環境生活課	1,080.69
	最終処分場	環境生活課	3,825.20
その他	旧有線放送農業協同組合	総務課	333.00
	旧生田診療所	総務課	417.98
	教職員住宅	教育委員会	353.96

※一般財団法人地域総合整備財団の公共施設等更新費用試算ソフトにおける分類

※施設及び延床面積は平成 30 年度末現在のものです。

第2章 板野町の公共施設の現状と課題

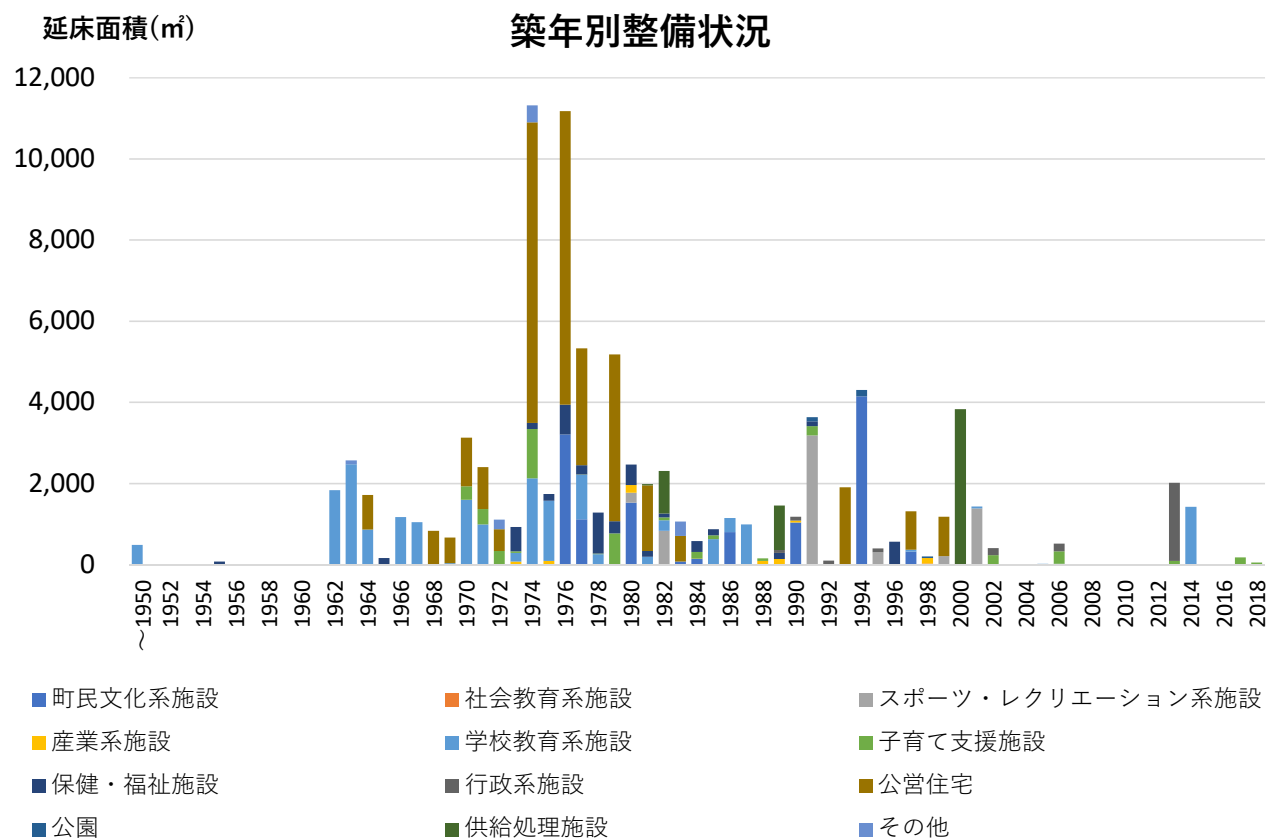
第1節 これまでの公共施設の整備状況

下記の図は、本町が保有している建物系公共施設（公共建築物）の建築年次ごとの延床面積を表しています。本計画の対象施設のほか、小中学校や幼稚園といった学校施設や、公営住宅も含んでいます。

築年別の整備状況を見ると、旧耐震基準が適用されていた時期である1981年以前に整備された建築物が全体の約63.9%、築30年以上の建物は約73.2%を占めています。施設の耐震性確保や老朽化の進行の面で深刻な状況にあることがわかります。

庁舎や学校については耐震化工事が完了しているものの、なかには、建築後40年以上経過しているものもあります。今後、除却や建替え、補修といった検討が課題となります。また、新耐震基準以降に建てられた施設に関しても、建築後30年以上経過しているものもあり、大規模改修が必要な時期を迎えているものもあります。

図表3 築年別整備状況



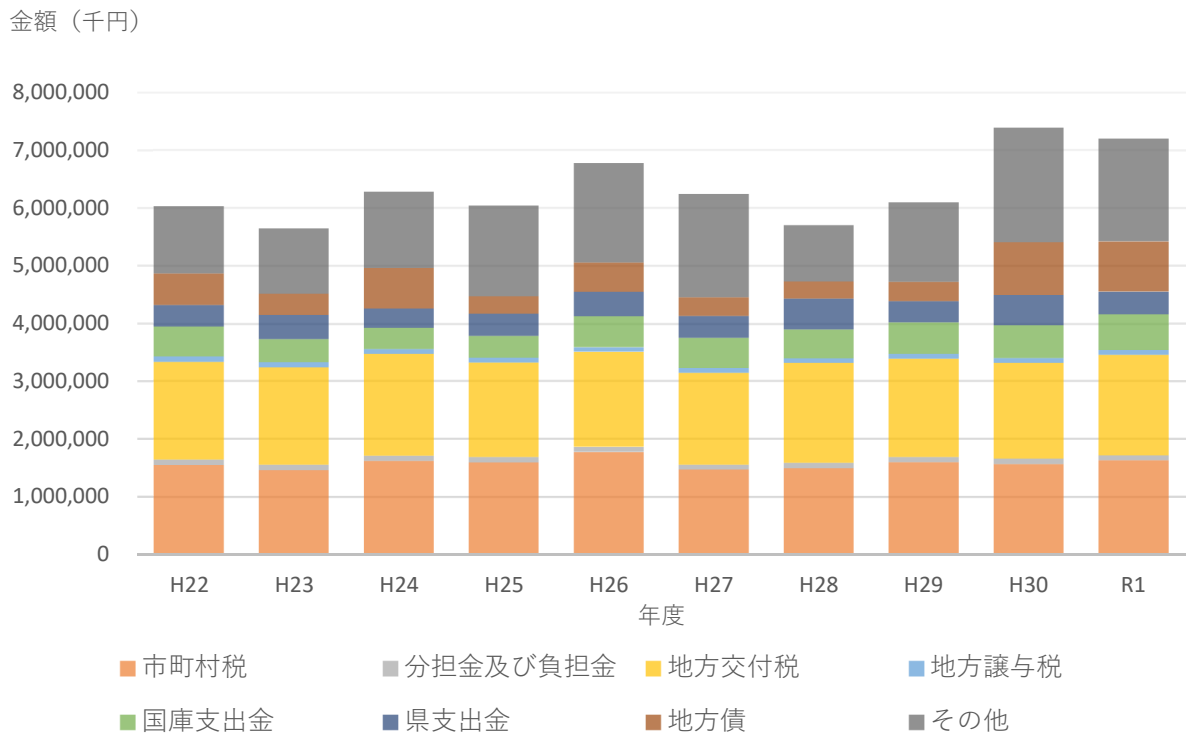
第 2 節 施設関連経費の推移

(1) 歳入の状況

平成 30 年度のデータになりますが、地方自治体における一般財源の規模に対する公債費の割合である実質公債費比率¹は 8.1%（県内平均 7.2%）となっています。過去の大型事業に係る地方債の償還に伴う元利償還金の減少等が見られましたが、近年では、道の駅整備事業に伴い地方債が増加しているため、計画的な償還計画の実行に努めます。

地方公共団体の財政力を示す指数である財政力指数²は、0.49（県平均 0.41）となっています。緊急に必要な事業の峻別による投資的経費の抑制等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、町税や住宅使用料等の滞納解消を図るなど、徴収強化に取り組み、財政基盤の強化に努めていきます。

図表 4 歳入の推移



¹ 実質公債費比率が 18%以上となる地方自治体は、地方債を発行するときに国の許可が必要になる。

さらに、実質公債費比率が 25%以上になると、単独事業のために債権を発行することができなくなる。平成 18 年度導入。

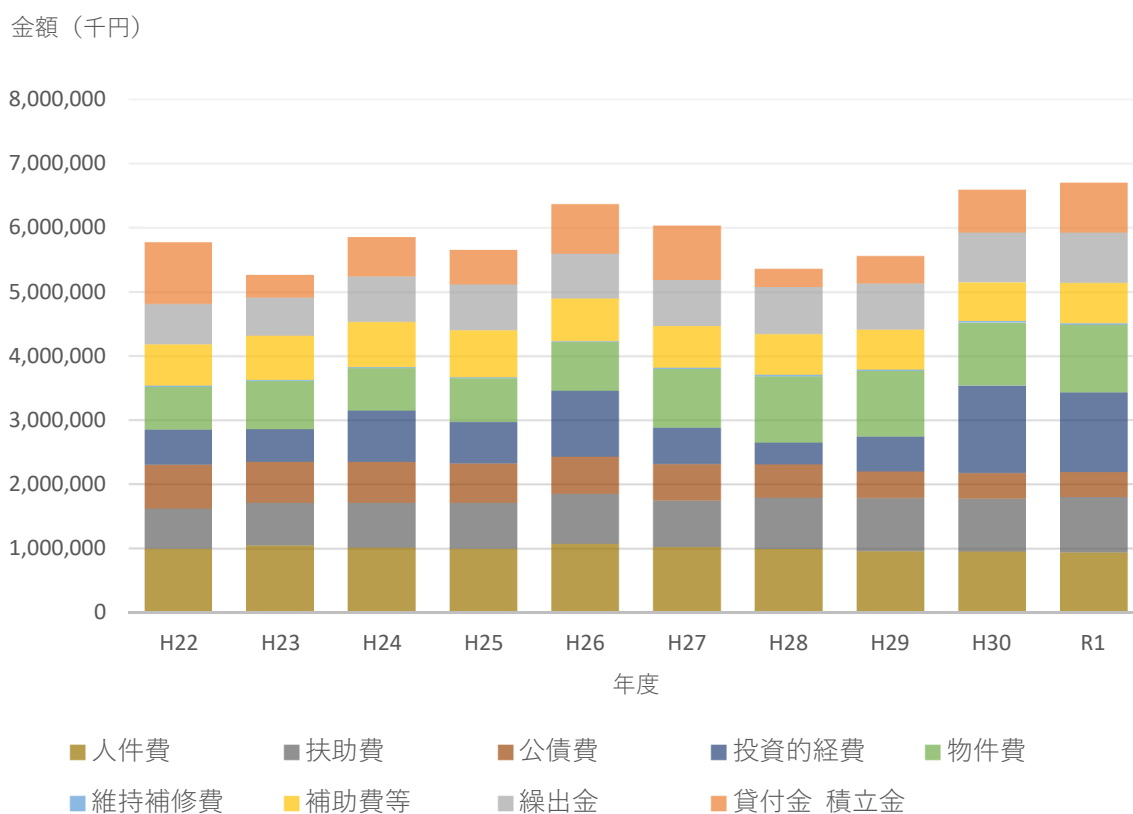
² 財政力指数が高い（1.0 に近い）ほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

(2) 歳出の状況

令和元年度の歳出のうち占める割合が高いものは、投資的経費が18.6%、物件費が15.8%、人件費が13.9%となっています。今後、人口減少に伴い地方税収入の減少が見込まれることから、これまで以上に、歳入に係る地方交付税や国庫支出金等の依存財源の割合が増すことが考えられます。また、高齢化社会の進行による社会保障費の支出が歳出に占める割合が高くなることが予想されます。

コストと財政の適正性の面から、本町の公共施設等の維持管理・改修・更新等に支出できる財源には限界があることを前提に、今後とも、公共施設のあり方について検討していきます。

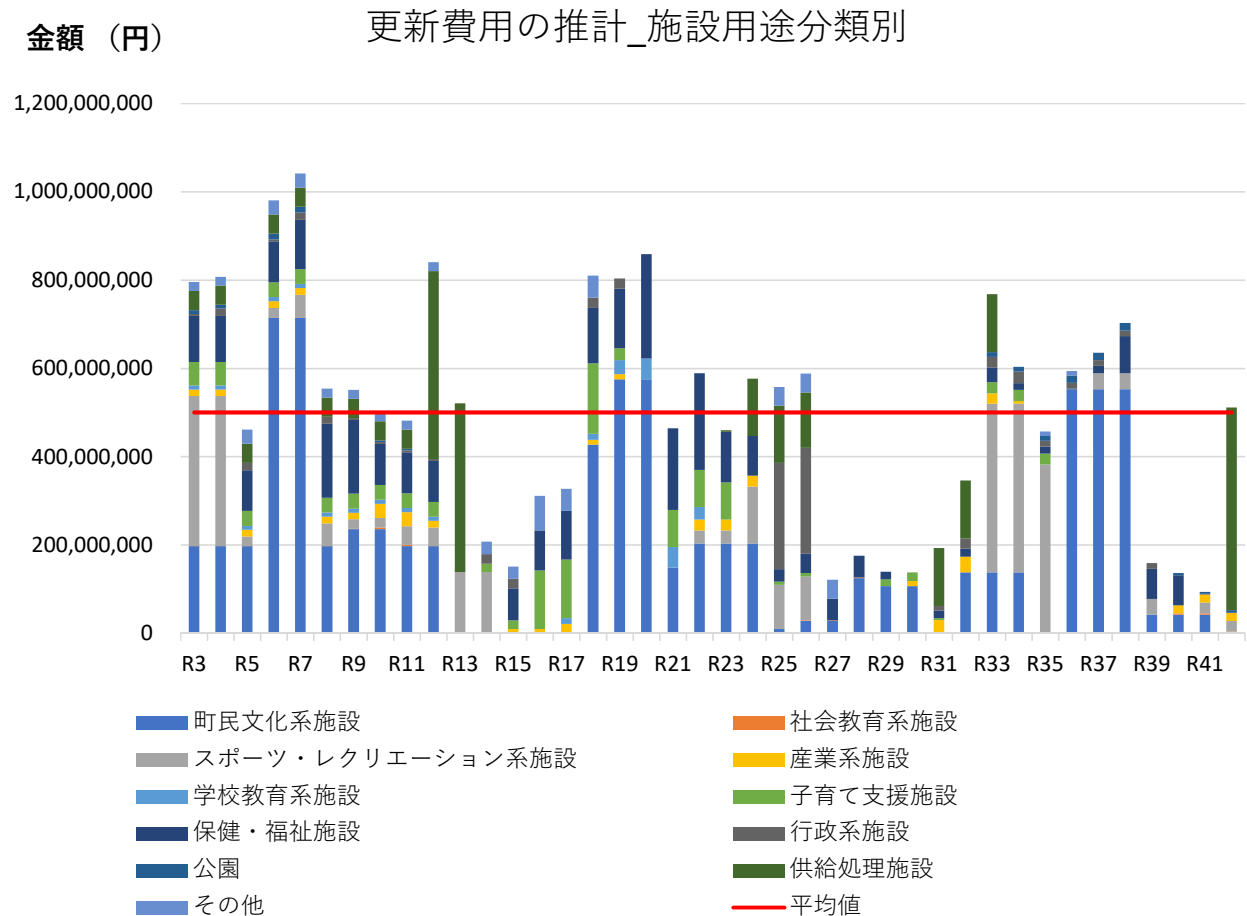
図表5 歳出の推移



第3節 施設維持管理・更新にかかる費用の推計結果

本町が所有する建築系公共施設（P6のグラフ）を、すべて大規模改修を実施し、現状規模のまま建替えた場合、今後40年間で200億円（年平均5.0億円）の更新費用がかかるとの見込みとなりました。この推計結果より、本町ではすでに公共施設の大規模改修の時期に差し掛かっており、今後10年間に大規模改修に多額の費用が発生すると見込まれています。平準化することを前提とした予算編成や、町財政との兼ね合いが重要になります。また、人口減少や高齢化に伴い、今後、税収減や社会保障費の増加が見込まれるため、公共施設の更新費用の財源は不足することが懸念されます。

図表6 将来更新費用推計



■ 推計条件 ■

- 計算方法：延べ床面積×更新単価 ※図表 7 参照
耐用年数経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定して計算。
- 耐用年数：標準的な耐用年数とされる 60 年を採用することとする。
- 大規模改修：建設後 30 年で行うものとする。
- 経過年数が 31 年以上 50 年までのもの：今後 10 年間で大規模改修を行うものとして計算。
- 経過年数が 51 年以上のもの：大規模改修は行わずに 60 年を経た年度に建替えるとして計算。
- 耐用年数が超過しているもの：今後 10 年間で均等に更新するものとして計算。
- 建替え期間：設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、3 年間として計算。
- 修繕期間：設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、2 年間として計算。

図表 7 更新費用推計に関する設定・更新単価

連番	施設用途分類	大規模改修	建替え
		単価(円/㎡)	単価(円/㎡)
1	町民文化系施設	250,000	400,000
2	社会教育系施設	250,000	400,000
3	スポーツ・レクリエーション系施設	200,000	360,000
4	産業系施設	250,000	400,000
5	学校教育系施設	170,000	330,000
6	子育て支援施設	170,000	330,000
7	保健・福祉施設	200,000	360,000
8	医療施設	250,000	400,000
9	行政系施設	250,000	400,000
10	公営住宅	170,000	280,000
11	公園	170,000	330,000
12	供給処理施設	200,000	360,000
13	その他	200,000	360,000

(一般財団法人地域総合整備財団 公共施設等更新費用試算ソフトの単価参照)

第3章 施設管理の基本的な方針等

第1節 施設マネジメントの基本方針（「公共施設等総合管理計画」より抜粋）

総合管理計画では、公共施設を適正に管理していくために、公共施設の管理に関する目標や基本方針を定めています。本計画は、総合管理計画の方針を具体的に実行するために策定するものであることから、この基本方針を踏襲しますが、一部については、総合管理計画の改訂を前提として設定することとします。

■基本方針（総合管理計画より）■

本計画は、住民の安全・安心を確保し、子どもや孫の世代が安心して暮らせる地域社会を築いていくため、安全に保有し続けることができる運営体制を確立していくことを目的とします。そのため、本町が保有する全ての公共施設等を対象に、町全体の公共施設等の総量抑制、施設の維持管理・運営方法の見直し、資産の有効活用等、公共施設等に関する将来的な財政負担を軽減するための取組みを積極的に進めます。公共施設等は一度整備すると、長年にわたり世代を超えて使い続けることとなる一方、住民のニーズは時代とともに変化します。公共施設等を、時代に適合させ、多くの住民に効果的に活用してもらうための取組みを進めます。

○総量抑制

施設の整備から長期間が経過し、使用頻度が少ない公共施設等は廃止や縮小を検証します。民間での運営が可能な施設は積極的に民営化を進める等、住民の利用状況に留意しながら、町全体の公共施設等の保有量の縮減に取り組めます。

○維持管理・運営方法の見直し

公共施設の維持管理・運営方法について、民間活力の導入等により、一層の効率化に取り組めます。また、多くの住民が効果的に施設を利用できるよう、必要に応じて施設の位置づけを見直すことにより、広域化や多機能化による利用対象者の拡大に取り組めます。

○資産の有効活用

住民が公共施設をできるだけ長期間良好な状態で利用できるよう、運営費用等の縮減の可能性を十分検証した上で、計画的な予防保全の仕組みを導入し、公共施設の長寿命化に取り組めます。

また、公共施設の民営化・複合化・多機能化・廃止等によって生じた余剰地については、民間への売却や賃貸等を積極的に進める等、効果的かつ効率的な資産活用に取り組めます。

第2節 維持管理の実施方針

総合管理計画にて設定した維持管理方針に沿って、各施設の個別方針を設定するものとします。

図表8 総合管理計画における維持管理方針

総合管理計画における維持管理方針	
①点検・診断等	<p>個別施設計画の策定にあたっては、劣化診断を実施し経年による劣化状況、外的負荷（気候天候、使用特性等）による性能低下状況及び管理状況を把握するとともに、評価を行い、施設間における保全の優先度を判断する。点検には、日常点検の他に、定期点検や臨時点検等があり、自ら実施する場合と、専門家に依頼する場合があります。委託契約により実施している保守・点検・整備が委託契約どおりに実施されているかどうか、委託先から確実に報告を受け、実態を把握する。保守・点検・整備については、その履歴を記録し、集積・蓄積して老朽化対策等に活かす。建物の劣化及び機能低下を防ぐために、恒久的に実施する。耐震診断、劣化診断、衛生・空気質診断等、既往の診断があるものはそのデータを利用し、公共施設調書等から転用できるデータもある場合は、これらの調査を十分に活用しながら、診断を定期的に行っていく。</p>
②維持管理・ 修繕・更新等	<p>全対象施設において点検・診断を実施することによって、修繕等の必要な対策を適切な時期に着実かつ効率的・効果的に実行する。また、施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、今後の点検・診断・予防保全等に活用するという、メンテナンスサイクルを施設類型ごとに構築していくこととする。</p> <p>今後、住民生活に必要性が認められる施設については、修繕・更新の機会をとらえて社会経済情勢の変化に応じた質的向上や機能付加、用途変更や複合化・集約化を図っていく。一方で、必要性が認められない施設については、廃止・除却を進めることとし、中長期的な視点に立って、長寿命化コストの縮減と年度間のコスト平準化を推進していく。</p>
③耐震化 及び国土強靱化	<p>一部の既存建築物について耐震補強を行っている。耐震改修と耐震補強の状況、及び主要な建築物の耐震改修対象建築物については、必要に応じ明確にしていく。さらには、南海トラフ巨大地震・大規模水害・土砂災害・豪雪災害及び、同時かつ連続的に発生する複合災害への的確な対応を図り、「板野町国土強靱化地域計画」とも密接に連携すると共に、県や近隣市町村と連携を図りつつ、国の定める国土強靱化に資する公共施設等の耐震化を推進していく。</p>

総合管理計画における維持管理方針（つづき）

<p>④安全確保</p>	<p>公共施設における安全確保は、利用者の安全を確保し、資産や情報の保全を目的とした要件となる。万一の事故・事件・災害に遭遇したときに、損害を最小限にとどめ俊敏に復旧する体制を、平時から備えておくことは、施設管理者にとって最も重要なポイントとなるため、点検・診断等により高度の危険性が認められた公共施設等または、老朽化等により供用廃止され、今後とも利用見込みのない公共施設等に対しては、本計画や個別施設計画に基づきスピード感を持って安全対策や除却等を推進する。施設の安全確保に係る項目としては、耐久性、不具合の状況や敷地安全性、建物安全性、火災安全性、生活環境安全性の把握が重要となる。</p> <p>本町では、この中から高度な危険性が認められる項目を絞り込み、評価し、危険性が認められた施設については、評価の内容に沿って安全確保の改修を実施することとする。なお、一部危険性の認められたものについては、総合的な判断により改修せずに供用廃止を検討する場合がある。</p> <p>一方、除却に際しては、地方債の特例措置をはじめとする国の地方財政措置を有効的に活用していく。</p>
<p>⑤長寿命化</p>	<p>長寿命化が必要と判断された施設については、その延長期間を一世代相当分延長することを目標とする。目標を達成するため、経済的かつ効果的で、環境負荷低減や災害対応にも配慮した予防保全措置を適切に講じていく。</p> <p>また、長寿命化工事（大規模修繕工事等）の実施にあたっては、従来の平均的な更新時期に建替える場合と比べて、LCC（ライフサイクルコスト）の削減を図るとともに、各施設の長寿命化の具体的な方針については、各個別施設計画において定める。</p>
<p>⑥PPP/PFI 活用</p>	<p>今後、PPP/PFI 方式、コンセッション方式、指定管理制度等、民間の資金や活力、外郭団体の機能等を積極的に活用し、新たな住民のニーズに応えるとともに、公共施設の機能を向上させながら、維持管理コスト等の縮減を図っていく。</p> <p>また、住民サービスの充実や行政コストの削減、さらには新たな歳入の確保を図るため、PPP/PFI・コンセッション等の新たな行政手法の導入件数を今後検討する。</p>

総合管理計画における維持管理方針（つづき）

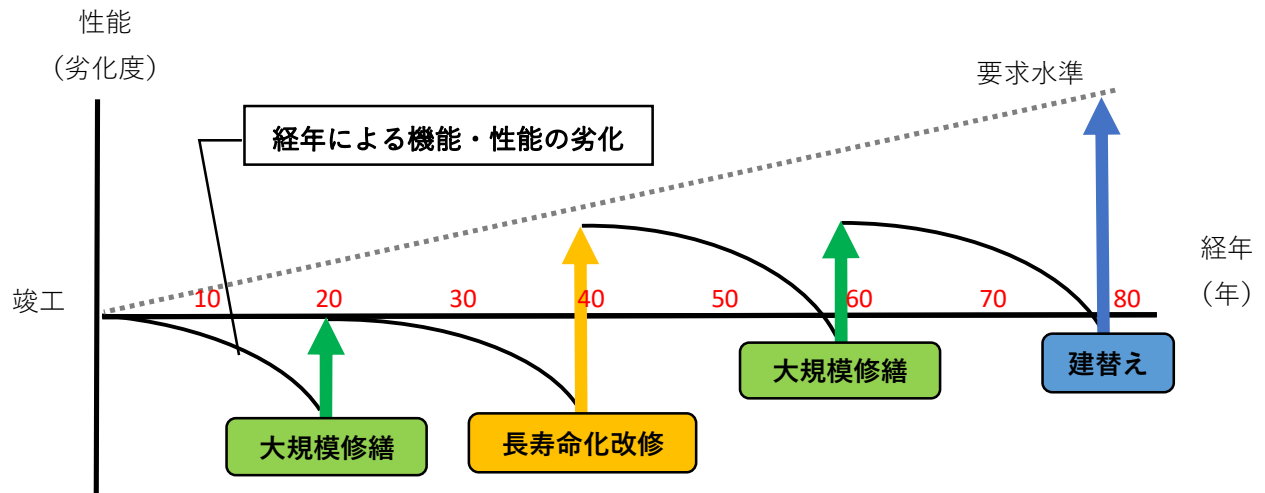
<p>⑦統合や廃止</p>	<p>統合や廃止の検討にあたっては、将来の人口見通しや行政コスト縮減を鑑み、施設総量や配置の最適化を図る。しかし、公共施設等の統合や廃止では、住民サービスの水準低下が懸念されることから、それを最小限にするため、種々の公共施設コンパクト化の施策について住民合意を要することになると考えているため、本町の施設の統廃合や遊休施設の活用は、住民、議会等と協議しながら検討していくこととする。その際、既存の施設体系の役割に縛られることなく、多角的な視野を持ち、今後その地域に必要なものがいったい何なのかを幅広く自由に発想していく。危険性の高い施設や老朽化等により供用廃止（用途廃止、施設廃止）を必要とする施設を見出し、施設を診断する。診断は、継続使用、改善使用、用途廃止、施設廃止の4つの段階に評価し、施設のハード面だけではなく、ソフト面からも診断を行い、施設の統廃合及び供用廃止の判断材料とする。</p>
<p>⑧住民との情報共有</p>	<p>本計画の推進にあたっては、住民との問題意識や情報の共有が不可欠であるため、今後とも、公共施設等のあり方について、住民目線に立った幅広い議論を進めていくとともに、公共施設等に関する情報についてHPをはじめとする各種広報媒体等を通じ、これまで以上に積極的に開示していく。</p>
<p>⑨広域連携</p>	<p>公共サービスの提供には、国や県をはじめ、周辺自治体との施設相互利用を行うといった広域連携の検討が推奨されている。災害時の避難場所・経路の迅速な対応にも周辺自治体との連携は欠かせないことから、人命を守るといった観点からも、広域連携のあり方を進めていく。</p>
<p>⑩フォローアップ方針</p>	<p>本計画に沿った、個別施設に対する行動計画となる「アクションプラン」を段階的に策定する。「アクションプラン」に基づいた「プロジェクトマネジメント」から、公共施設等の建設や大規模改修、長寿命化改修、統廃合、更新を実施する。上記の対象である公共施設等に対し、数量（供給）、品質、コスト（財務）の面から評価を行い、統括管理としてこれらの取りまとめも継続的に実施する。この際、「アクションプラン」との差異が認められた場合は改善活動を実施し、本計画（及び「アクションプラン」）に戻り、評価内容に従い「アクションプラン」の改訂を実行する。その上で改訂された「アクションプラン」に従い、再び新たな「プロジェクトマネジメント」や新たな運営維持活動に取り組むこととする。</p>

第3節 施設長寿命化の基本方針

建築物は、躯体の健全性が確保されてはじめて長期に使用することが可能となります。躯体の健全性を測る指標としては、コンクリート中性化深さ、鉄筋の腐食度、コンクリート圧縮強度等があります。今後は、耐用年数を目安に詳細診断（躯体の健全性調査）を実施し、結果が良好（圧縮強度 13.6N/mm²以上、中性化深さ 30 mm未満）であれば長期に使用することとし、目標耐用年数を次のように設定します。

鉄筋コンクリート造と鉄骨造については、「図表 11 建築物全体の望ましい目標耐用年数」を根拠に、躯体の建築物を標準で 60 年間使用することとし、躯体の健全性調査結果が良好な場合には、80 年以上使用する。

図表 9 長寿命化のイメージ（目標耐用年数 80 年）



大規模修繕	長寿命化改修	
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、耐用性、快適性、省エネルギー性を確保するための機能向上工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障、不具合修繕 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障、不具合修繕 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート中性化対策 ・鉄筋の腐食対策 ・バリアフリー改修 ・外壁、屋上の断熱化改修 ・省エネルギー機器への更新

図表 10 構造躯体の健全性評価基準

1) 圧縮強度 (数値が大きいほど強い)
標準的なコンクリートの圧縮強度が、13.5N/mm ² 以下では十分な強度とはいえ改修に適さないため、13.6N/mm ² 以上を「長寿命化が可能」と判断する。
2) 中性化深さ (数値が小さいほど健全)
大気中の二酸化炭素がコンクリートに侵入し中性化が内部の鉄筋まで進行すると、鉄筋の腐食によりコンクリートと鉄筋の一体性が失われ、建物が本来の力を発揮できないため、長期間の使用に支障をきたすおそれがある。このため中性化の深さが、最低限のかぶり厚さ(コンクリート表面から鉄筋までの厚さ)である30mmに達していない場合を「長寿命化が可能」と判断する。

図表 11 建築物全体の望ましい目標耐用年数

用途	構造種別	鉄筋コンクリート造、鉄骨造	
		高品質の場合	普通の品質の場合
学校、官庁 事務所など		80 ~ 100 年以上	50 ~ 80 年以上

※資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

また、「予防保全」の考え方を取り入れた長寿命化を図っていくためには、建物を構成する主要な部位別に改修周期を設定する必要があることから、「建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人 建築保全センター）」の標準耐用年数を参考に、下表のとおり部位別改修周期を設定します。

図表 12 部位別改修周期

部位項目		標準耐用年数
建築	外壁	20~30年
	屋上防水	20~30年
電気	受変電設備	30年
	電灯設備	20年
機械	空調設備	20年
	給水設備	20~30年
	エレベーター	30年

※資料：建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人 建築保全センター）参照

第4節 優先順位の考え方と更新費用の平準化について

既存の施設を適切に維持管理するためには、必要な対策を適切な時期に実施する必要があります。しかし、対策を実施するための予算には、年度ごとに限りがあり、すべての対策を最適な時期に実施できない事も想定されます。そこで、どの施設に対する対策を優先的に実施するかを検討するため、劣化状況調査を行いました。当調査においてD評価（劣化の程度が大きく、安全上、機能上の問題があるため、早急に対応する必要がある）となった部位に関しては、優先的に対応を実施する必要があります。

本町では、長寿命化を加味した改修周期を基に、劣化状況調査で算出された健全度を考慮して、改修等の対策の優先順位を検討します。健全度が低い施設から優先的に対策を講じることとします。また、健全度の点数に関わらず、C、D評価の部位は、部位修繕が必要（D評価は5年以内、C判定は10年以内が適切）であるため、対策金額を算出して計画に反映し、優先的に対策を行うものとし、実際の事業化に際しては、政策的な判断等も含め、総合的に検討した上で、予算化を進めることとします。

なお、更新費用の平準化に関しては、過去の建物系公共施設の整備に関する投資的経費（普通建設事業費や用地取得費）の実績を基に、毎年の更新費用の上限額の目安とする財政制約ラインを設定しました。

図表 13 直近5カ年の建物系公共施設にかかった投資的経費（各年決算統計より）

（単位：千円）

	H27	H28	H29	H30	R1	平均
普通建設事業費	241,955	110,254	292,769	1,049,892	996,514	538,277
用地取得費	0	2,258	14,198	665,520	53,792	147,154
合計	241,955	112,512	306,967	1,715,412	1,050,306	685,430

直近5カ年の平均は、685,430千円となりましたが、平成30年度並びに令和元年度分には、道の駅の整備費用が含まれ、投資的経費が例年に比べ大きくなっていることから、総合管理計画で記載した平成23年度～同27年度の普通建設事業費と用地取得費の平均が約500,000千円（これには、本計画の範囲外とした学校施設や公営住宅などの整備費用も含む）ということも鑑み、当計画で定める建物系公共施設における更新費用の財政制約ラインは、250,000千円と設定しました。 次頁から、劣化状況調査の評価基準と健全度の算定方法を示します。

劣化状況調査により、建物の健全度を点数化します。

以下の調査表を用いて調査を実施しました。なお、今後も定期的に調査点検を行い、不具合・危険箇所の早期発見に努め、予防保全につなげるものとします。

図表 14 調査票

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新) 工事内容	劣化状況 (複数回答可)		特記事項	評価
				箇所数		
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水		<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			C
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水		<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り跡がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水		<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れがある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)		<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)		<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()		<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない			
	最終工事年度		0	<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある		
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ		<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			D
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り		<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル		<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)		<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()		<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ		<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ		<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス		<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
	最終工事年度		0	<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある		

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			C
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> バリアフリー対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			C
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			C
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
31
100点
自動算定

【引用】学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

部位別劣化度の評価は、屋根・屋上と外壁は目視状況により、また、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修からの経過年数を基本に、以下のとおり 100 点満点で数値化します。

図表 15 目視による評価基準【屋根・屋上、外壁】

評価	基準	配点
A	概ね良好	100 点
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	75 点
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	40 点
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	10 点

図表 16 経過年数による評価基準【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準（部位の全面的な改修年からの経過年数）	配点
A	20 年未満	100 点
B	20～40 年未満	75 点
C	40 年以上	40 点
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合	10 点

図表 17 部位のコスト配分

部位	コスト配分
①屋根・屋上	5.1
②外壁	17.2
③内部仕上げ	22.4
④電気設備	8.0
⑤機械設備	7.3
計	60.0

【引用】文部科学省「長寿命化改良事業」 校舎の改修費率算定表

図表 18 健全度の算定

施設健全度は、下記の計算式で算出しています。

【 健全度の計算式 】

健全度=総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

【 計算例 】

	評価	→	評価点	×	配分	=	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	=	1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8	=	800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
						計	3,148
						÷	60
						健全度	52

図表 19 部位別劣化度評価の例


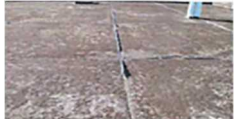


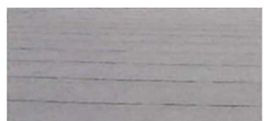



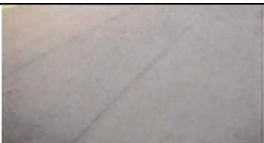

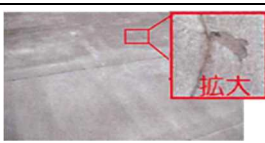







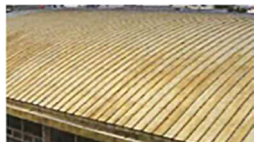

連番	基本情報		部位に関する情報					健全度
	施設名称	建物名称	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	
1	〇〇分庁舎	庁舎	B	B	A	A	A	90
2	□□センター	集荷場	B	C	C	B	B	51
3	△△館	展示場	B	B	C	C	C	53
4	旧〇△事務所	事務所	D	D	C	C	C	28
5	□△管理組合	管理棟	B	B	B	B	B	75

図表 20 評価基準：屋根・屋上

目視状況を写真事例に照らして A・B・C・D の 4 段階で評価しました。

良好

劣化

	A	B	C	D
保護防水 アスファルト	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、損傷、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
露出防水 アスファルト	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、膨れ、変質(摩耗)、排水不良がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、損傷、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
シート防水	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、膨れ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、損傷、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
塗膜防水	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、膨れ、しわ、変質(スポンジ状)、排水不良がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、損傷、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
(長尺、折板、平葺) 金属板	 良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)	 部分的に、塗装の剥がれ、錆、変質、シーリング材のひび、金物の錆がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、損傷、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。

図表 21 解説

【点検項目】

- ✓ 最上階の天井に降雨時やその翌日に雨漏りが無いか？
- ✓ または、雨漏りが原因と思われるシミやカビが無いか？
- ✓ 防水面で、膨れ・剥がれ・破れ・穴あきなどが無いか？
- ✓ 金属屋根で、錆・損傷・腐食などが無いか？
- ✓ 上記のような劣化現象の個所数を記入。

【引用】文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

【点検の留意点】

- ✓ ルーフドレイン（屋上排水口）や排水溝は、緩い勾配が付けられている最も低い部分で、土砂などが溜まりやすい。ここが詰まると水溜りが出来、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。
- ✓ 目視だけではなく歩行により、浮きや水漏れ等がないか確認する。
- ✓ パラペット立ち上がり部分の防水端部で、剥がれ等がないか確認する。
- ✓ 屋内運動場の屋根で容易に登れない場合、隣接する校舎の屋上等から観察する。
- ✓ 一カ所の劣化事象だけではなく、全体の経年状況等を踏まえる。
- ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は、評価を一段階引き下げる。
現状として降雨時に複数箇所雨漏りしている場合を D 評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は、概ね 10 箇所以上を D 評価とする。但し、屋上防水は改修済みでも、天井ボードは既存のままとなっている場合が多く、見極める必要がある。

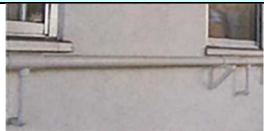



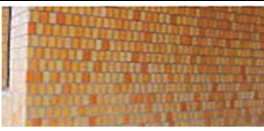















【引用】文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

図表 22 評価基準：外壁

目視状況を写真事例に照らして A・B・C・D の 4 段階で評価しました。

良好

劣化

	A	B	C	D
仕上げ 塗り	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)</p>	 <p>部分的に、ひび割れ、変質、浮き、錆汁がある。</p>	 <p>広範囲に、ひび割れ、変質、亀甲上のひび割れ、浮き、剥がれ、錆汁があり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>広範囲に剥落、爆裂、幅広のひび割れがあり、内部の床に水溜り、漏水が複数箇所ある。</p>
石張り タイル張り	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)</p>	 <p>部分的に、ひび割れ、変質、浮き、はらみ、錆汁、シーリング材のひびがある。</p>	 <p>広範囲に、ひび割れ、変質、浮き、はらみ、錆汁、シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>広範囲に、剥離、爆裂、幅広のひび割れがあり、内部の床に水溜り、漏水が複数箇所ある。</p>
金属系パネル	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)</p>	 <p>部分的に、膨れ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。</p>	 <p>広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。</p>	 <p>広範囲に、損傷、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。</p>
セメント系パネル	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)</p>	 <p>部分的に、ひび割れ、変質、欠損、シーリング材のひびがある。</p>	 <p>広範囲に、ひび割れ、変質、シーリング材の取り付け金物の錆があり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>欠落、ぐらつき、取り付け金物の腐食、シーリング材の欠落があり、内部の床に水溜り、漏水が複数箇所ある。</p>
窓(サッシ)	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後 10 年以内)</p>	 <p>部分的に、変形、変質、シーリング材の硬化がある。</p>	 <p>全体的に、変形、変質、錆、シーリング材の硬化、ひび割れが見られる。</p>	 <p>全体的に腐食、損壊、開閉不良があり、漏水がある。</p>

図表 23 解説

【点検項目】

- ✓ 外壁に、コンクリートが剥離し、鉄筋が露出している箇所は無いかな？
- ✓ 外壁の室内側に、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれが無いかな？
- ✓ また、降雨時や翌日に床面に水溜りができていないかな？
- ✓ 外装材（モルタル、タイル、吹付け材などの仕上げ材）の亀裂、剥離、ひび割れ及び破損などは無いかな？
- ✓ 建具枠、蝶番などの腐食、変形、ぐらつきなどが無いかな？
- ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥がれなどが無いかな？
- ✓ 上記のような劣化事象の個所数を記入

【引用】文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」




【点検の留意点】

- ✓ 目視によって外壁の劣化状況を確認する。
外壁のタイル、モルタルなどに剥落や膨れ、浮きを発見した場合は、直ちに周囲に立ち入りできないよう、措置を講じる。
また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
- ✓ スチールサッシは、錆の影響による開閉不良、鍵の破損等について確認する必要がある。
- ✓ 現状として降雨時に複数箇所でも雨漏りしている場合を D 評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は、概ね 10 か所以上を D 評価とする。
- ✓ 鉄筋の露出は、概ね 5 か所以上を D 評価とする。

【引用】文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

図表 24 評価基準：内部仕上げ、電気設備、機械設備

部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に A、B、C、D の 4 段階で評価しました。

	該当する部位	C または D の事案 (例)
内部仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ●床、壁、天井 ●内部開口部 (扉、窓、防火戸) ●室内表示、手摺り、固定家具など ●照明器具、衛生器具、冷暖房器具 	<ul style="list-style-type: none"> ●内部仕上げと設備機械について、該当建物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った、改装工事の実施年度を基準都市、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・特定の教室のみの改修 ・天井張り替え、壁の塗り替え、照明器具の交換など、部位、機器のみの改修工事 ●広範囲（25%以上の面積）、または随所（5箇所以上）に劣化事象が見られる場合は、評価を一段階下げることを目安とする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 床仕上げの剥がれ 床のひび割れ 天井材の落下・剥がれ </p>
電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ●建物内の分電盤、配線、配管 (電灯、コンセント設備、弱電設備) 	<ul style="list-style-type: none"> ●建物内の分電盤、配線、配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った、改装工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備の更新 ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新 ・視聴覚室やコンピューター室などの改修はしているが、他の部分は 40 年以上経過している場合は、C 評価。
機械設備	<ul style="list-style-type: none"> ●建物内の給水配管、給湯配管、排水配管、ガス配管 	<ul style="list-style-type: none"> ●建物内の給水配管、給湯配管、排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋（床面積）にわたって行った、改装工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・部分的な修繕等 ・給水配管の更新済みで、排水配管は 40 年以上経過している場合は、C 評価。 ・給排水配管を一度も更新せず、40 年以上経過している場合は D 評価。

図表 25 解説

内部仕上げと設備は、修繕・改修や点検の履歴をもとに、経過年数により4段階で評価することを基本とします。

ただし、現地目視により、図表 23 にあるような事象があれば、それらも加味して総合的に評価することとします。

対象となる部位、及び C/D 評価に該当する事象例を図表 23 に示します。

【点検項目】

- ✓ 内部において、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮きや損傷などが無いか？
- ✓ 天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより、安全性が損なわれているところが無いか？
- ✓ 設備機器において、機器や架台に錆、損傷、腐食などが無いか？
- ✓ 給水設備において、使用水に赤水や異臭が無いか？
- ✓ 機器から異音はしていないか？
- ✓ 保守点検や消防の査察などで是正措置等の指摘が無いか？

【引用】文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

【点検の留意点】

- ✓ 目視によって状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などが無いかを確認する。
- ✓ 受変電設備等の高圧危機は、フェンスの外から目視により確認する。
- ✓ 施設管理者からのヒアリングも有効。
- ✓ 目視で評価する場合、複数台ある内、一台の危機の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。

【引用】文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

第5節 建物系公共施設の費用試算及び平準化

予防保全的な長寿命化対策を行うことで、建物を保全し、躯体の耐用年数まで使用することを目指します。躯体の目標耐用年数の中間年で、新築時の整備水準を超える大規模改修を行い、さらに、部位の更新時期に合わせて修繕を行うことで、建築物を使用している間、建築物に求められる性能が確保できる状態を維持できるとされています。前節までに示してきた方針に従い、本計画の対象施設における本町の今後10年間（R3～12）までの実施計画を作成しました。以下の計画に沿って整備に向けて予算編成に取り組んでいきますが、今後の町財政状況や社会情勢、町民ニーズ等の変化を踏まえ、5年ごとに見直しを図ることとします。

なお、各施設の実施計画については、次章にてとりまとめています。

費用試算に伴い、既に修繕や建替え等の予定があり、設計額等が出ているものについては、設計額を採用しました。そのほかの施設（建物）については、図表26に示すように推計単価を設定し、延床面積に応じ試算しています。

図表26 長寿命化型の更新費用推計に関する設定・更新単価

連番	施設用途分類	大規模改修		長寿命化改修		建替え	
		建替えの25%		建替えの60%		総務省単価に準拠	
		周期 (年)	単価 (円/㎡)	周期 (年)	単価 (円/㎡)	周期 (年)	単価 (円/㎡)
1	町民文化系施設	20	100,000	40	240,000	80	400,000
2	社会教育系施設	20	100,000	40	240,000	80	400,000
3	スポーツ・レクリエーション系施設	20	90,000	40	216,000	80	360,000
4	産業系施設	20	100,000	40	240,000	80	400,000
5	学校教育系施設	20	82,500	40	198,000	80	330,000
6	子育て支援施設	20	82,500	40	198,000	80	330,000
7	保健・福祉施設	20	90,000	40	216,000	80	360,000
8	医療施設	20	100,000	40	240,000	80	400,000
9	行政系施設	20	100,000	40	240,000	80	400,000
10	公営住宅	20	70,000	40	168,000	80	280,000
11	公園	20	82,500	40	198,000	80	330,000
12	供給処理施設	20	90,000	40	216,000	80	360,000
13	その他	20	90,000	40	216,000	80	360,000

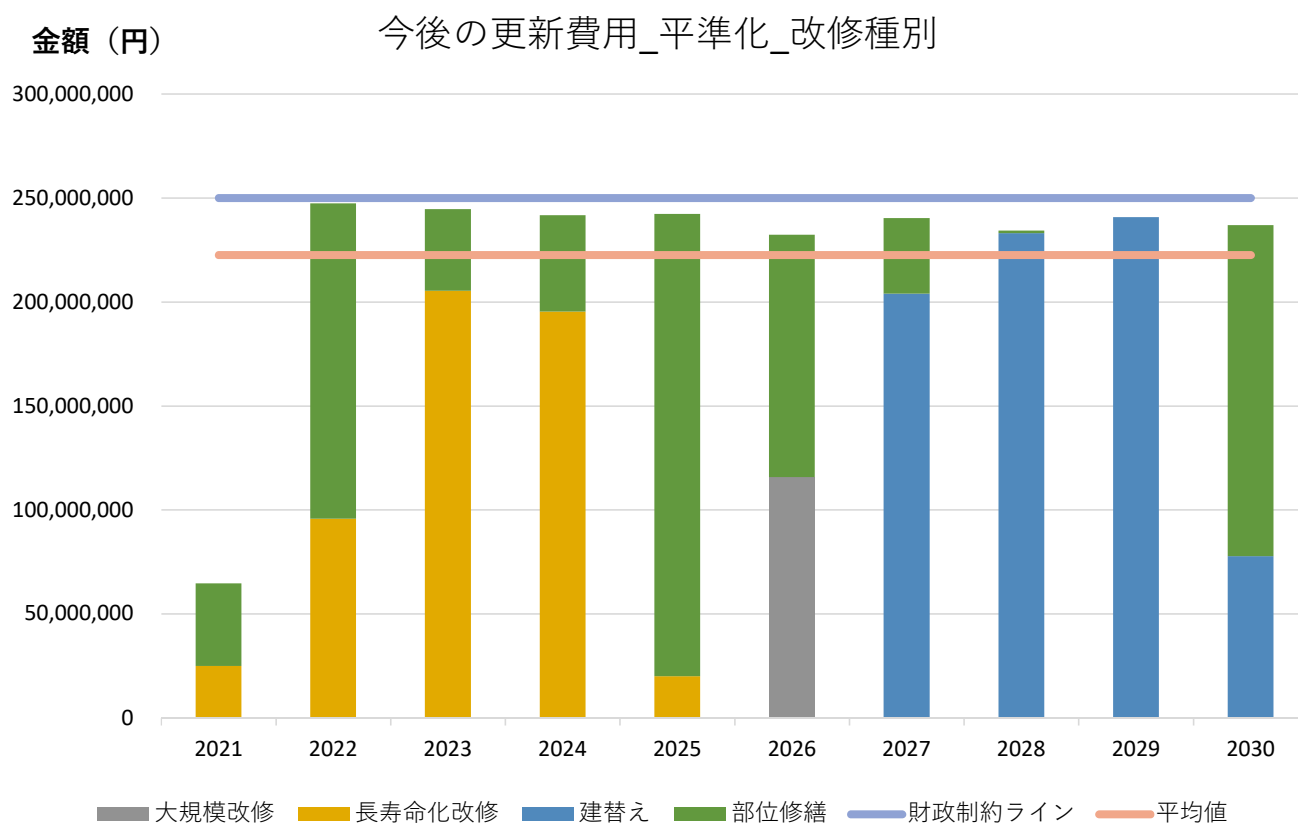
※長寿命化改修、大規模修繕については、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書「付属エクセルソフト（文部科学省）の長寿命化改修、大規模改造の初期設定値を参考に設定しています。

図表 27 部位修繕のコスト設定（建替え費用に対する割合）

部位	建替え費用に対する割合
屋根・屋上	3.50%
外壁	5.10%
内部仕上げ	5.60%
電気設備	4.00%
機械設備	3.70%

※学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書 付属エクセルソフト（文部科学省）の初期設定値を参考に設定しています。

図表 28 今後の維持・更新コスト（実施計画）



先述したとおり、財政制約ライン（毎年の更新費用の上限額の目安）を 250,000 千円と設定し、今後 10 年間の実施計画を表しています。この計画に基づいて予算措置を講じていきます。グラフの内容（実施施設・建物、金額内訳）は、次章にて示します。

第4章 施設分類別の個別施設計画

本計画の各対象施設の、劣化状況調査結果、健全度、方針及び実施計画をまとめました。

① 町民文化系施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
犬伏コミュニティセンター	犬伏コミュニティハウス	犬伏字大坪34-1	鉄骨造	1983年4月1日	237.59	37年	－	－	－	－	－	－
川端コミュニティセンター・老人憩の家	コミュニティセンター	川端字宮ノ西17-2	鉄骨造	1998年3月1日	237.59	23年	B	C	B	B	B	64
町民センター	町民センター	大寺字亀山西169-5	鉄筋コンクリート	1976年12月1日	2,046.19	44年	A	A	C	C	C	62
南公会堂	公会堂	下庄字神木59-1	鉄筋コンクリート	1977年3月1日	1,157.00	44年	B	B	C	C	C	53
総合センター	総合センター	大寺字岡ノ前33-1他	鉄筋コンクリート	1987年3月1日	800.00	34年	B	C	B	B	B	64
東公会堂	公会堂	大寺字亀山西31-1	鉄筋コンクリート	1978年3月1日	1,112.76	43年	B	A	C	C	C	60
あせび会館	あせび会館	大坂字宮東25	木造	1998年3月1日	74.91	23年	－	－	－	－	－	－
南公民館	公民館	下庄字栖養46-1	鉄筋コンクリート	1980年4月1日	1,012.00	40年	B	C	B	B	B	64
下庄教育集会所	集会所	下庄字栖養89-11	鉄骨造	1985年3月1日	132.19	36年	－	－	－	－	－	－
文化の館	文化の館	犬伏字東谷13-1	鉄筋コンクリート	1995年3月1日	4,144.67	26年	A	A	B	B	B	84
中央公民館	公民館	大寺字亀山西190-1	鉄筋コンクリート	1980年8月1日	509.91	40年	A	B	C	C	C	55
町民ふれあいプラザ	町民ふれあいプラザ	那東字大道下10	鉄筋コンクリート	1990年4月1日	1033.45	30年	B	C	B	B	B	64

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
犬伏コミュニティセンター	犬伏コミュニティハウス	現状維持										
川端コミュニティセンター・老人憩の家	コミュニティセンター	現状維持									部位修繕	4,847
町民センター	町民センター	現状維持										
南公会堂	公会堂	長寿命化										
総合センター	総合センター	長寿命化									部位修繕	16,320
東公会堂	公会堂	長寿命化							部位修繕	29,599	部位修繕	29,599
あせび会館	あせび会館	現状維持										
南公民館	公民館	建替え										
下庄教育集会所	集会所	廃止										
文化の館	文化の館	長寿命化									部位修繕	67,000
中央公民館	公民館	建替え										
町民ふれあいプラザ	町民ふれあいプラザ	長寿命化										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
犬伏コミュニティセンター	犬伏コミュニティハウス	現状維持										
川端コミュニティセンター・老人憩の家	コミュニティセンター	現状維持										
町民センター	町民センター	現状維持									部位修繕	108,857
南公会堂	公会堂	長寿命化	大規模改修	115,700								
総合センター	総合センター	長寿命化										
東公会堂	公会堂	長寿命化										
あせび会館	あせび会館	現状維持										
南公民館	公民館	建替え							建替え	202,400	建替え	202,400
下庄教育集会所	集会所	廃止										
文化の館	文化の館	長寿命化										
中央公民館	公民館	建替え			建替え	203,964						
町民ふれあいプラザ	町民ふれあいプラザ	長寿命化			部位修繕	21,082						

② 社会教育系施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
陶芸ハウス	陶芸ハウス	犬伏字大坪34-1	鉄骨造	1984年4月1日	12.00	36年	-	-	-	-	-	-
大坂口御番所跡	旧村瀬家母屋	大坂字ハリ71	木造	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大坂口御番所跡	倉庫	大坂字ハリ71	木造	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大坂口御番所跡	管理棟	大坂字ハリ71	軽量鉄骨造	1998年6月1日	23.18	22年	-	-	-	-	-	-

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
陶芸ハウス	陶芸ハウス	現状維持										
大坂口御番所跡	旧村瀬家母屋	現状維持										
大坂口御番所跡	倉庫	現状維持										
大坂口御番所跡	管理棟	現状維持										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
陶芸ハウス	陶芸ハウス	現状維持										
大坂口御番所跡	旧村瀬家母屋	現状維持										
大坂口御番所跡	倉庫	現状維持										
大坂口御番所跡	管理棟	現状維持										

③ スポーツ・レクリエーション系施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
共同浴場（板野温泉）	浴場	大寺字辻78-1	鉄筋コンクリート	1981年3月1日	247.41	40年	D	D	C	C	C	28
彩りの館	彩りの館	犬伏字平山4-6-1	鉄筋コンクリート	1996年3月1日	289.55	25年	B	B	B	B	B	75
彩りの館附属休憩所	休憩所	犬伏字平山4-6-1	木造	1996年3月1日	9.90	25年	—	—	—	—	—	—
やすらぎ館	やすらぎ館	大坂字棕木原30-1	鉄筋コンクリート	2002年3月1日	834.16	19年	B	B	A	A	A	90
文化交流館	文化交流館	大坂字棕木原30-1	鉄筋コンクリート	2002年3月1日	546.07	19年	B	B	A	A	A	90
健康の館	健康の館	犬伏字大柳1	鉄筋コンクリート	1992年3月1日	3,183.42	29年	B	B	B	B	B	75
板野町体育センター	体育センター	吹田字間谷14-1	鉄筋コンクリート	1983年3月1日	829.45	38年	B	C	B	B	B	64
町民プール（管理棟）	管理棟	大寺字郡頭3	鉄筋コンクリート	1999年7月1日	205.00	21年	C	C	B	B	B	62

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
共同浴場（板野温泉）	浴場	廃止										
彩りの館	彩りの館	現状維持										
彩りの館附属休憩所	休憩所	現状維持										
やすらぎ館	やすらぎ館	長寿命化										
文化交流館	文化交流館	長寿命化										
健康の館	健康の館	長寿命化									部位修繕	88,244
板野町体育センター	体育センター	長寿命化										
町民プール（管理棟）	管理棟	長寿命化							部位修繕	6,347		

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
共同浴場（板野温泉）	浴場	廃止										
彩りの館	彩りの館	現状維持										
彩りの館附属休憩所	休憩所	現状維持										
やすらぎ館	やすらぎ館	長寿命化										
文化交流館	文化交流館	長寿命化										
健康の館	健康の館	長寿命化										
板野町体育センター	体育センター	長寿命化			部位修繕	15,229						
町民プール（管理棟）	管理棟	長寿命化										

④ 産業系施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
畜産センター	畜産センター	大寺字露ノ口55-2	鉄骨造	1989年3月31日	88.00	32年	C	B	B	B	B	72
南地区農機具等格納庫	1号棟	下庄字栄寿197-1,字神木61-5	鉄骨造	1999年3月1日	136.20	22年	-	-	-	-	-	-
南地区農機具等格納庫	2号棟	下庄字栄寿197-1,字神木61-5	鉄骨造	1990年3月1日	132.00	31年	-	-	-	-	-	-
川端地区農機具等格納庫	1号棟	川端字原田51-1,39-3	鉄骨造	1976年3月1日	84.00	45年	-	-	-	-	-	-
川端地区農機具等格納庫	2号棟	川端字原田51-1,39-3	鉄骨造	1991年3月1日	45.50	30年	-	-	-	-	-	-
大寺地区農機具等格納庫	1号棟	大寺字辻79-2,字山田畑14-2	鉄骨造	1974年3月1日	70.00	47年	-	-	-	-	-	-
大寺地区農機具等格納庫	2号棟	大寺字辻79-2,字山田畑14-2	鉄骨造	1981年3月1日	186.00	40年	-	-	-	-	-	-

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
畜産センター	畜産センター	現状維持										
南地区農機具等格納庫	1号棟	廃止										
南地区農機具等格納庫	2号棟	廃止										
川端地区農機具等格納庫	1号棟	廃止										
川端地区農機具等格納庫	2号棟	廃止										
大寺地区農機具等格納庫	1号棟	廃止										
大寺地区農機具等格納庫	2号棟	廃止										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
畜産センター	畜産センター	現状維持					部位修繕	1,232				
南地区農機具等格納庫	1号棟	廃止										
南地区農機具等格納庫	2号棟	廃止										
川端地区農機具等格納庫	1号棟	廃止										
川端地区農機具等格納庫	2号棟	廃止										
大寺地区農機具等格納庫	1号棟	廃止										
大寺地区農機具等格納庫	2号棟	廃止										

⑤ 学校教育系施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
西新田教育集会所	集会所	西中富字中須77-48	鉄筋コンクリート	1976年2月1日	122.96	45年	—	—	—	—	—	—
川端教育集会所	集会所	川端字権現1-1	鉄骨造	1978年3月1日	168.00	43年	B	B	C	C	C	53
郡頭教育集会所	集会所	大寺字王子33	鉄筋コンクリート	1979年3月1日	256.17	42年	C	C	C	C	C	40

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
西新田教育集会所	集会所	廃止										
川端教育集会所	集会所	廃止										
郡頭教育集会所	集会所	廃止										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
西新田教育集会所	集会所	廃止										
川端教育集会所	集会所	廃止										
郡頭教育集会所	集会所	廃止										

⑥ 子育て支援施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					健全度
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	
南児童館	児童館	下庄字文開1-1	鉄骨造	1992年3月1日	227.45	29年	B	B	B	B	B	75
東児童館	児童館	大寺字亀山西1	鉄骨造	2007年3月1日	312.04	14年	A	B	A	A	A	92
東児童館	東児童館（増築分）	大寺字亀山西1	鉄骨造	2014年3月31日	90.00	7年	A	A	A	A	A	100
西児童館	児童館	那東字福道21-1	鉄骨造	2002年9月1日	227.00	18年	B	B	A	A	A	90
板野保育園	保育室1	大寺字岡ノ前20	鉄筋コンクリート	1974年4月1日	540.00	46年	C	B	C	C	C	50
板野保育園	保育室2	大寺字岡ノ前20	鉄筋コンクリート	1974年4月1日	129.00	46年	C	B	C	C	C	50
板野保育園	管理棟	大寺字岡ノ前20	鉄筋コンクリート	1974年4月1日	539.39	46年	B	B	C	C	C	53
板野保育園	調理室	大寺字岡ノ前20	鉄骨造	2018年3月30日	175.50	3年	A	A	A	A	A	100
板野保育園	保育園3	大寺字岡ノ前20	鉄筋コンクリート	1980年3月1日	765.50	41年	C	B	C	C	C	50
板野保育園	事務室（プレハブ式）	大寺字岡ノ前20	軽量鉄骨造	2018年11月8日	49.68	2年	-	-	-	-	-	-

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
南児童館	児童館	現状維持										
東児童館	児童館	現状維持										
東児童館	東児童館（増築分）	現状維持										
西児童館	児童館	現状維持										
板野保育園	保育室1	長寿命化					長寿命化改修	53,460	長寿命化改修	53,460		
板野保育園	保育室2	長寿命化					長寿命化改修	12,771	長寿命化改修	12,771		
板野保育園	管理棟	長寿命化					長寿命化改修	53,400	長寿命化改修	53,400		
板野保育園	調理室	長寿命化										
板野保育園	保育園3	長寿命化					長寿命化改修	75,785	長寿命化改修	75,785		
板野保育園	事務室（プレハブ式）	現状維持										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
南児童館	児童館	現状維持										
東児童館	児童館	現状維持										
東児童館	東児童館（増築分）	現状維持										
西児童館	児童館	現状維持										
板野保育園	保育室1	長寿命化										
板野保育園	保育室2	長寿命化										
板野保育園	管理棟	長寿命化										
板野保育園	調理室	長寿命化										
板野保育園	保育園3	長寿命化										
板野保育園	事務室（プレハブ式）	現状維持										

⑦ 保健・福祉施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
下庄老人憩の家	老人憩の家	下庄字栖養14-1	鉄骨造	1983年2月1日	97.09	38年	B	B	B	B	B	75
犬伏老人憩の家	老人憩の家	犬伏字平山83	鉄骨造	1979年3月1日	163.87	42年	B	C	C	C	C	42
古城老人憩の家	老人憩の家	古城字南屋敷44-1	鉄骨造	1976年3月1日	163.62	45年	A	B	C	C	C	55
黒谷老人憩の家	老人憩の家	黒谷字東原24-3	鉄骨造	1980年3月1日	76.38	41年	C	B	C	C	C	50
吹田老人憩の家	老人憩の家	吹田字神木3-3	鉄骨造	1977年3月1日	158.15	44年	C	C	C	C	C	40
デイサービスセンター 在宅介護支援センター	デイサービスセンター 在宅介護支援センター	吹田字西山68-10	鉄筋コンクリート	1997年3月1日	557.92	24年	B	C	B	B	B	64
西中富老人憩の家	老人憩の家	西中富字雁ヶ坪34-1	鉄骨造	1977年3月1日	162.20	44年	-	-	-	-	-	-
日出家老人憩の家	老人憩の家	西中富字宮ノ本28-7	鉄骨造	1980年3月1日	98.54	41年	B	C	C	C	C	42
新田老人憩の家	老人憩の家	川端字中手崎52-9	鉄骨造	1977年3月1日	150.00	44年	B	B	C	C	C	53
関柱老人憩の家	老人憩の家	大坂字関東80-1	鉄骨造	1979年3月1日	77.00	42年	-	-	-	-	-	-
岡ノ宮老人憩の家	老人憩の家	大寺字岡ノ前138-3	鉄骨造	1978年3月1日	119.00	43年	C	C	C	C	C	40
大寺東老人憩の家	老人憩の家	大寺字亀山下93	鉄骨造	1978年3月1日	107.49	43年	-	-	-	-	-	-
板野共同作業所あせび	板野共同作業所あせび	大寺字亀山西190-1	鉄筋コンクリート	1965年5月1日	158.67	55年	B	B	C	C	C	53
高樹老人憩の家	老人憩の家	大寺字高樹14-6	鉄骨造	1980年3月1日	126.19	41年	B	B	C	C	C	53
大寺老人憩の家	老人憩の家	大寺字平井75-1	鉄骨造	1984年10月1日	238.00	36年	B	C	B	B	B	64
中久保老人憩の家	老人憩の家	中久保字当部65-1	鉄骨造	1981年3月1日	124.00	40年	B	B	B	B	B	75
唐園老人憩の家	老人憩の家	唐園字香殿北20	鉄骨造	1979年3月1日	83.52	42年	C	B	C	C	C	50
那東老人憩の家	老人憩の家	那東字道ブチ22-1	鉄骨造	1991年4月1日	120.00	29年	B	B	B	B	B	75
矢武老人憩の家	老人憩の家	矢武字鏡松1	鉄筋コンクリート	1977年3月1日	264.00	44年	A	B	C	C	C	55
羅漢老人憩の家	老人憩の家	羅漢字吉田15-2	鉄骨造	1975年2月1日	148.68	46年	C	C	C	C	C	40
西中富老人ルーム	老人ルーム	西中富字中須57-21他	鉄骨造	1990年3月1日	149.72	31年	-	-	-	-	-	-
川端老人ルーム	老人ルーム	川端字原田33-1	鉄骨造	1986年3月1日	147.91	35年	B	C	B	B	B	64
大寺老人ルーム	老人ルーム	大寺字辻72-2他	鉄骨造	1982年3月1日	140.33	39年	-	-	-	-	-	-
養護老人ホーム	管理棟	大寺字露ノ口50-1	鉄筋コンクリート	1980年11月1日	289.34	40年	C	C	B	B	B	62
養護老人ホーム	第1収容棟	大寺字露ノ口50-1	鉄筋コンクリート	1973年6月1日	402.04	47年	C	C	C	C	C	40
養護老人ホーム	第2収容棟	大寺字露ノ口50-1	鉄筋コンクリート	1979年3月1日	688.57	42年	C	C	C	C	C	40
養護老人ホーム	サービス棟	大寺字露ノ口50-1	鉄筋コンクリート	1973年6月1日	202.5	47年	C	C	C	C	C	40
養護老人ホーム	機械室棟	大寺字露ノ口50-1	コンクリートブロック	1956年3月1日	71.22	65年	-	-	-	-	-	-
養護老人ホーム	倉庫	大寺字露ノ口50-1	軽量鉄骨造	1984年4月1日	27.00	36年	-	-	-	-	-	-
中村老人憩の家	老人憩の家	大坂字川走4-4	-	1981年3月1日	98.00	40年	-	-	-	-	-	-

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
下庄老人憩の家	老人憩の家	現状維持			長寿命化改修	20,000						
犬伏老人憩の家	老人憩の家	現状維持			長寿命化改修	30,000						
古城老人憩の家	老人憩の家	現状維持					部位修繕	7,834				
黒谷老人憩の家	老人憩の家	現状維持					長寿命化改修	10,000				
吹田老人憩の家	老人憩の家	現状維持	長寿命化改修	25,000								
デイサービスセンター在宅介護支援センター	デイサービスセンター在宅介護支援センター	現状維持						部位修繕	10,243			
西中富老人憩の家	老人憩の家	現状維持									長寿命化改修	20,000
日出家老人憩の家	老人憩の家	現状維持			長寿命化改修	20,000						
新田老人憩の家	老人憩の家	廃止										
関柱老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
岡ノ宮老人憩の家	老人憩の家	現状維持			長寿命化改修	25,704						
大寺東老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
板野共同作業所あせび	板野共同作業所あせび	現状維持					部位修繕	7,597				
高樹老人憩の家	老人憩の家	現状維持					部位修繕	6,042				
大寺老人憩の家	老人憩の家	建替え	建替え	30,000								
中久保老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
唐園老人憩の家	老人憩の家	現状維持					部位修繕	5,051				
那東老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
矢武老人憩の家	老人憩の家	現状維持					部位修繕	12,640				
羅漢老人憩の家	老人憩の家	現状維持			部位修繕	11,722						
西中富老人ルーム	老人ルーム	現状維持										
川端老人ルーム	老人ルーム	現状維持									部位修繕	2,716
大寺老人ルーム	老人ルーム	現状維持										
養護老人ホーム	管理棟	現状維持										
養護老人ホーム	第1収容棟	現状維持										
養護老人ホーム	第2収容棟	現状維持										
養護老人ホーム	サービス棟	現状維持										
養護老人ホーム	機械室棟	現状維持										
養護老人ホーム	倉庫	現状維持										
中村老人憩の家	老人憩の家	現状維持										

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
下庄老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
犬伏老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
古城老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
黒谷老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
吹田老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
デイサービスセンター在宅介護支援センター	デイサービスセンター在宅介護支援センター	現状維持										
西中富老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
日出家老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
新田老人憩の家	老人憩の家	廃止										
関柱老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
岡ノ宮老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
大寺東老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
板野共同作業所あせび	板野共同作業所あせび	現状維持										
高樹老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
大寺老人憩の家	老人憩の家	建替え										
中久保老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
唐園老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
那東老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
矢武老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
羅漢老人憩の家	老人憩の家	現状維持										
西中富老人ルーム	老人ルーム	現状維持										
川端老人ルーム	老人ルーム	現状維持										
大寺老人ルーム	老人ルーム	現状維持										
養護老人ホーム	管理棟	現状維持	部位修繕	8,958								
養護老人ホーム	第1収容棟	現状維持	部位修繕	31,697								
養護老人ホーム	第2収容棟	現状維持	部位修繕	54,287								
養護老人ホーム	サービス棟	現状維持	部位修繕	15,965								
養護老人ホーム	機械室棟	現状維持	部位修繕	5,615								
養護老人ホーム	倉庫	現状維持										
中村老人憩の家	老人憩の家	現状維持										

⑧ 行政系施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
役場庁舎	庁舎	吹田字町南22-2	鉄筋コンクリート	2013年4月1日	1,923.11	7年	A	A	A	A	A	100
南消防センター	消防センター	下庄字栖養47-1	鉄骨造	1990年1月1日	76.80	31年	B	B	B	B	B	75
災害対策用備蓄倉庫	倉庫	吹田字間谷14-5	鉄骨造	2007年3月1日	187.20	14年	B	B	A	A	A	90
東第2消防センター	消防センター	吹田字間谷14-5	鉄骨造	1992年12月1日	96.00	28年	B	B	B	B	B	75
東第1消防センター	消防センター	川端字出口10-1	鉄骨造	1996年2月1日	96.00	25年	B	B	B	B	B	75
消防センター	消防センター	大寺字龜山西190-1	鉄骨造	2002年4月1日	173.00	18年	B	B	A	A	A	90
西消防センター	消防センター	那東字福道20-1	鉄骨造	1991年3月1日	98.24	30年	B	B	B	B	B	75

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
役場庁舎	庁舎	現状維持										
南消防センター	消防センター	建替え										
災害対策用備蓄倉庫	倉庫	現状維持										
東第2消防センター	消防センター	建替え										
東第1消防センター	消防センター	建替え										
消防センター	消防センター	現状維持										
西消防センター	消防センター	建替え										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
役場庁舎	庁舎	現状維持										
南消防センター	消防センター	建替え					建替え	30,720				
災害対策用備蓄倉庫	倉庫	現状維持							建替え	38,400		
東第2消防センター	消防センター	建替え									建替え	38,400
東第1消防センター	消防センター	建替え										
消防センター	消防センター	現状維持										
西消防センター	消防センター	建替え									建替え	39,296

⑨ 公園

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
あせび公園	便所	大坂字榎木屋53番地外	鉄筋コンクリート	1999年3月1日	21.00	22年	-	-	-	-	-	-
あせび公園	便所	大坂字榎木屋53番地外	鉄筋コンクリート	1999年3月1日	21.00	22年	-	-	-	-	-	-
田園パーク東トイレ	トイレ	犬伏字東スカ20-5	鉄筋コンクリート	1992年3月1日	45.00	29年	-	-	-	-	-	-
ポケットパーク公衆便所	公衆便所	犬伏字東スカ45-1	鉄筋コンクリート	1992年3月1日	56.00	29年	-	-	-	-	-	-
歴史文化公園	竪穴式住居（復元建築）	犬伏字平山1	木造	1995年3月1日	36.21	26年	-	-	-	-	-	-
歴史文化公園	高床式倉庫（復元建築）	犬伏字平山1	木造	1995年3月1日	25.20	26年	-	-	-	-	-	-
歴史文化公園	公衆便所B	犬伏字平山1	鉄筋コンクリート	1995年3月1日	38.55	26年	-	-	-	-	-	-
歴史文化公園	展望台	犬伏字平山1	木造	1995年3月1日	14.80	26年	-	-	-	-	-	-
歴史文化公園	だるま窯建屋	犬伏字平山1	鉄骨造	1995年3月1日	40.00	26年	-	-	-	-	-	-

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
あせび公園	便所	現状維持										
あせび公園	便所	現状維持										
田園パーク東トイレ	トイレ	現状維持										
ポケットパーク公衆便所	公衆便所	現状維持										
歴史文化公園	竪穴式住居（復元建築）	長寿命化										
歴史文化公園	高床式倉庫（復元建築）	長寿命化										
歴史文化公園	公衆便所B	長寿命化										
歴史文化公園	展望台	長寿命化										
歴史文化公園	だるま窯建屋	長寿命化										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
あせび公園	便所	現状維持										
あせび公園	便所	現状維持										
田園パーク東トイレ	トイレ	現状維持										
ポケットパーク公衆便所	公衆便所	現状維持										
歴史文化公園	竪穴式住居（復元建築）	長寿命化										
歴史文化公園	高床式倉庫（復元建築）	長寿命化										
歴史文化公園	公衆便所B	長寿命化										
歴史文化公園	展望台	長寿命化										
歴史文化公園	だるま窯建屋	長寿命化										

⑩ 供給処理施設

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
環境センター	環境センター	松谷字カロヲト奥18-59	鉄筋コンクリート	1990年3月31日	1,071.00	31年	D	C	B	B	B	59
環境センター	車庫（灰バンカ室併用）	松谷字カロヲト奥18-59	鉄筋コンクリート	1990年3月31日	22.50	31年	—	—	—	—	—	—
し尿処理施設（クリーンセンター）	本体・管理棟	吹田字西山68-10	鉄筋コンクリート	1983年3月31日	992.42	38年	C	C	B	B	B	62
し尿処理施設（クリーンセンター）	休憩所・倉庫	吹田字西山68-10	鉄筋コンクリート	1983年3月31日	54.05	38年	—	—	—	—	—	—
し尿処理施設（クリーンセンター）	車庫・倉庫	吹田字西山68-10	鉄筋コンクリート	1982年3月1日	34.22	39年	—	—	—	—	—	—
最終処分場	最終処分場	大坂字北唱谷38	鉄骨造	2001年3月15日	3,825.20	20年	B	B	A	A	A	90

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
環境センター	環境センター	現状維持									部位修繕	13,495
環境センター	車庫（灰バンカ室併用）	現状維持										
し尿処理施設（クリーンセンター）	本体・管理棟	長寿命化			部位修繕	140,000						
し尿処理施設（クリーンセンター）	休憩所・倉庫	長寿命化										
し尿処理施設（クリーンセンター）	車庫・倉庫	長寿命化										
最終処分場	最終処分場	現状維持										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
環境センター	環境センター	現状維持									部位修繕	19,664
環境センター	車庫（灰バンカ室併用）	現状維持										
し尿処理施設（クリーンセンター）	本体・管理棟	長寿命化									部位修繕	30,725
し尿処理施設（クリーンセンター）	休憩所・倉庫	長寿命化										
し尿処理施設（クリーンセンター）	車庫・倉庫	長寿命化										
最終処分場	最終処分場	現状維持										

⑪ その他

■ 対象施設の情報と劣化状況調査結果及び健全度 ■

資産名称	建物名称	所在地番	構造	建築年月日	延床面積 (㎡)	経過 年数	劣化状況調査結果					
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
旧有線放送農業協同組合	事務所	大寺字亀山西190-1	鉄筋コンクリート	1972年4月1日	234.00	48年	C	C	C	C	C	40
旧有線放送農業協同組合	倉庫	大寺字亀山西190-1	軽量鉄骨造	1963年4月1日	99.00	57年	-	-	-	-	-	-
旧生田診療所	居宅・診療所	那東字大道下11,14	鉄筋コンクリート	1974年4月1日	386.87	46年	D	D	C	C	C	28
旧生田診療所	自転車置場	那東字大道下11,14	軽量鉄骨造	1974年4月1日	31.11	46年	-	-	-	-	-	-
教職員住宅	住宅	大寺字王子4-1	鉄筋コンクリート	1984年2月1日	353.96	37年	D	C	B	B	B	59

本計画期間における基本的な方針と、対策内容と実施時期対策費用（内訳）

■ R3（2021）年度～R7（2025）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

資産名称	建物名称	基本的な方針	R3		R4		R5		R6		R7	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
旧有線放送農業協同組合	事務所	廃止										
旧有線放送農業協同組合	倉庫	廃止										
旧生田診療所	居宅・診療所	廃止										
旧生田診療所	自転車置場	廃止										
教職員住宅	住宅	廃止										

■ R8（2026）年度～R12（2030）年度 ■

（対策費用 単位：千円）

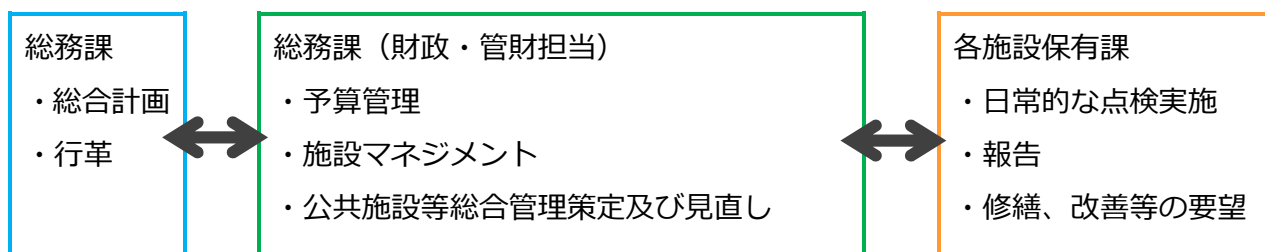
資産名称	建物名称	基本的な方針	R8		R9		R10		R11		R12	
			実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用	実施内容	対策費用
旧有線放送農業協同組合	事務所	廃止										
旧有線放送農業協同組合	倉庫	廃止										
旧生田診療所	居宅・診療所	廃止										
旧生田診療所	自転車置場	廃止										
教職員住宅	住宅	廃止										

第5章 計画のフォローアップ

第1節 推進体制の整備

本計画は、公共施設等（建築物）の改修や建替えの優先順位を設定するものです。「板野町公共施設等総合管理計画」及び町全体の財政計画の中で、年次及び個別の事業費を精査していくとともに、事業の進捗状況、定期的・法定的な点検から得られる老朽化に関する状況・評価などの結果に加え、社会の状況(少子高齢化など)を踏まえた上で、計画期間を10年間とし、随時見直しを行います。

図表 29 推進体制



第2節 フォローアップ

本計画は、対象施設の改修や建替えの方針及び工事概要を計画づけるものです。計画に位置付けられた事業は、優先度判定や事業の方向性検討等の手続きを経て予算要求することとし、当該年度の予算査定において与えられた財源の中で確定するものとします。

計画の推進にあたっては、PDCA（Plan:計画の推進・体制の構築、Do:実行(問題が発生したら対応する)、Check:効果の評価・考察、Action:検証・見直し）サイクルの考え方にに基づき、具体的な事業の実施と状況のフィードバック、翌年度以降の展開に向けて適宜見直し、長期的な社会情勢の変化に対応していきます。

加えて、実施計画及び各年度の工事实績についても施設マネジメントシステムにおいて管理し、翌年度以降の展開に向けて適宜、見直しを行うことで、計画の確実な推進を図ります。

板野町公共施設個別施設計画

令和 3 年 3 月

徳島県板野町総務課

〒779-0192

徳島県板野郡板野町吹田字町南 22-2

TEL 088-672-5980

URL <http://www.town.itano.tokushima.jp/>